	PDC A	チェックシ	ノート (平)	成 27	年度	実績評価)		担当局 担当課	建設局 みどり・公園整備課
			事業概要				<u>'</u>		課長名	藤井
THE			尹木侧女							
業名	地域に役立つ公園で	ぶくり事業								- (1) - ⑥
4 事業概要	身近な公園の再整備について、 行うことで、これまで以上に利用 計画段階から地域住民が参加 から概ね2ヵ年で再整備を行い	される公園を目指しま することで公園への愛	きす。						事□全部	委託 □ 負担金
コスト	事 27年度当初予算額 業 費 175,000 千 円	27年度執行額 千円	事業費備考)		人件費	目安の金額 6,825 =	f 四 - f	果長 0.05 人 系長 0.10 人 哉員 0.70 人	(人件費備考))
			7	Action	小羊					
課題		者の年齢層に偏りが身 なる努力が必要です。		見直	まちづく 会、小学 への遊り	り協議会には、町内 - 校PTA へ、参加の - マンケートや校区 - さまざまな立場 <i>0</i>	声かけ 内全戸	かわら版を	す。その一方 配布してのPF	で、市でも、小学校 R等を行い、さまざ
		(Plan	】計画					Do】実施	→ [Ch	neck】評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのよう		、どのような	成果を実	現したいか)	成			
目的	市民	公園を身近に感じられ	1、積極的に活用し	てもらう状態	態にするこ	とを目指します。		代表的な成り標の実績など参考に、成果状況をチェッ	ごを 見の	
	指標(数値化できない場合	」 は、目指している状態を 指標の説明と目標設定の		上段:25年 下段:26年		27年度目標		/年度実績 (達成率)		果の状況 『価理由
	市民が公園を身近に感じられる		/-G/C/J/					(建以平/	gri	
代表的な成	当事業は 地域住民とのワーク せた公園を整備するため、「当事す。 (最終目標と目標年度)			38	公園	20 弘				
指標									-	
活動計画	どうやって 目的を達 成するか	₹でワークショップを開	催し、計画策定を行	テいます 。			活動の状況	活動指標の第を参考に、活の状況をチェ	動	
	指標(数値化できない場合 (上段:指標?	・は、目指している状態を 名 下段:指標の説明)	文章で記載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		/年度実績 (達成率)		動の状況 i価理由
活動	計画策定校区数 毎年、各区の事業実施進捗率への積極性などをもとに、複数・			2	校区	2 校 区				
指標	す。 									
	E-B-M - Ib		[Ch	eck】評	価(分析	7)				
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点									
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点									

		DDC/	4チェック:	シー ト (亚)	成 97	午度	宇华亚体	١		担当	局	建設	足局
		PDC	47177		406 21	十次	大視計画	,		担当	課	緑政	大課
				事業概要						課長	:名	柴	田
事											施策	番号	
業	子どもの	つ安全・成長(に配慮した公園	園整備事業						т_	1 _	- (1)	- ®
名										1 -	' -	(1)	- 6
										-	直営		補助金
事	** = * 10 0	ハ 国 七 司 ナ オ 田 L	— → 1×4 1×1m 1+ 1,1-	4E1 4: VIII	W 1 - 244 -b 33 .				14.715 +	 = -	全部委託	fΠ	負扣金
業 概			て、子どもが健やかに 園整備を進めていきま		寺に巻ざ込	まれない女	(全・女心に配慮し):	公园	となるよう、専	I - 1 in a 全 音 で で は で で で で で で で で で で で で で で で で			
要	1 1300 150	に回じるかって五世	国金属で定めていて	7 0						-	一部委託	t 🗆	指正官埋
										法 □	その他		
	事 27年月	度当初予算額 📗	27年度執行額	(事業費備考)		人	目安の金額	ii ii	果長 0.05 人	()
ス	業	00 000 F	千			件	0.075 T		系長 0.10 人	(人件費	備考)		
	費	36,000 千	Ĥ			費	3,075 T	-H	裁員 0.20 人	1			
		·											
				(,	Action	改善							
					見								
課	H25年度の 評価結果	犯罪が公共空間(道路、公園等)で起き	ているため、死角を	生直		専門家や地域の方々						
題	太平けて		去や、公園を見守る大 境づくりが必要です。	く人の目を増やすこと	上な し 内	安心にホ	引用でき、子どもがえ	で気に	遊びながら、成	たしてい	いける公	園整備	に努め
	の課題	こ、元がに気いる	みつくりが必安です。		容	690							
			[Pla	n】計画					Do】実施	\rightarrow	Che	ck]	平価
	対象(誰を、	何を)	目指す状態(どのよ		・どのようか	『成里を宇	現したいか)					J. 71	1 124
	AND SOME COLUMN	F1 C /	H 18 7 10 163 (C 0) A	アる火のにしたが	, _ wa //a	が水で大	200120 ·N·)	成果	代表的な成績				
目			スピキの休力が増え	生され、安全・安心に	利田できる	レ威じたわ	る仕能にオスニレた		標の実績など	ビを			
的	市民		目指します。	==(10、女土 4人(1))=	מים מוניוי	こだしり行	ついなにり のここと	状	参考に、成果状況をチェッ				
								況	TWILE 7 T J				
	指標	(数値化できない場合	- 	を文章で記載)	上段:254	年度実績	07年中日福	27	年度実績		成果の	の状況	ī
			指標の説明と目標設定			丰度実績	27年度目標		達成率)			理由	
	市民が公園	を安全・安心に利用	用できると感じられる料	犬態									
	子どもが犯	罪に巻き込まれず	安全に遊ぶため 死	ー 角を生むようか樹	-								
代	木等の剪定	・撤去や、大人の目	、安全に遊ぶため、死 目が届きやすいように	遊具を配置すると			3 景						
表的	ともに、公園	を見守る大人を増	やすような環境づくり	を推進するため、			園						
な		よる整備公園数」を	拍標としまり。							-			
成	(最終目標と	と目標年度)	_										
果指													
標													
										1			
								=					
活	どうやって							活動	活動指標の	主 繕			
動計	目的を達	平成27年度は、1村	交区において安全点 核	食やワークショップを	行い、計画	策定に取約	且みます。	の	を参考に、活	動			
圖	成するか							状況	の状況をチェ	ニック			
	46.100				1 50, 054			.,,	/年度実績		江梨/	N 411 2□	
	指標		合は、目指している状態 (名 下段:指標の説明)	を文章で記載)	上段:25 ² 下段:26 ²		27年度目標		(平及美額 (達成率)		活動の	ル状況 理由	•
	計画等字符		1 170.111/30000001/		1 12:22	1 22412		<u> </u>	· 左· ※ 十 /		DI IM	<u>-тн</u>	
	計画策定校	[色数			-		14						
活			地域住民や大学など				1 校						
動	やワークショ	ョップを行い、計画st	策定を行っていきいま	す。									
指標								ļ		1			
伊泰													
								<u> </u>					
				[Ch	eck】評	価(分析	i)						
	【成果の状法												
分	【活動の状況												
析 及	を踏まえたな												
び	外部要因な	どの視点											
課	F 477 1-1												
題 の	経済性」	(同成果を低コストで) (同コストで高成果を)											
整	「幻拳性」 の分析	(向コストで高成果を)											
理	※民間活力	導入の視点											

	PDCAチェックシート(平)	成 27 年月	夏実績評価.)	担当同担当課	水環境課
	事業概要				課長名	関川
*	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					<u> </u>
事業	河川改修事業の推進					_
名					Ⅱ - 1	- (4) - ④
					■ 直営	□補助金
事						
業	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加していま				■ 単 □ 全部	委託 🗆 負担金
概要	浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進します。 	f .			手 ■ 一部	委託 🛚 指定管理
_					法 □ その	他
\Box	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考)	,	目安の金額	課長 1.00 人	()
¬	and the second s	4		 係長 1.50 人	(人件費備考)	
1	業 費 1,759,350 円	費		-円	-	
		<u> </u>	_	'	1	
		Action】改善				
		見				
課	H25年度の 評価結果 今後も引き続き、用地の確保や関係機関との調整に努め、	,」直				
題	を受けて 水対策に効果的な整備を行っていきます。	^グ し 整備領 内	箇所毎に最も経済的な	方法を検討し、事業	の重点化・効率	率化に努めます。
	の課題	20				
		_				
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価_
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような成里を	実現したいか)			A P I IM
	THE PROPERTY OF THE PROPERTY	、こののプの風木で	7-900120 No.)	成代表的な成果	果指	
且				_		
的	市内全域 浸水被害を抑制するため、治水事業の	根幹となる河川改修	を推進します。	伏 参考に、成界 状 状況をチェッ		
				況 ^{(人), (をデェッ}		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実績	27年度目標	27年度実績		具の状況
	(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	下段:26年度実績	27 干及口际	(達成率)	評	価理由
	浸水被害の低減					
/		_				
代表	河川毎に計画している降雨(1時間で50~70mm程度)に対応できる状		単年度目			
的	態を目指します。		標設定なし			
な	 (最終目標と目標年度) 河川整備率100% 平成45年度					
成里	(取於日孫6日孫千度) 为川豊備午100% 千成43千度				4	
果指						
標						
			_			
<u> =</u>				活		
活	どうやって H21、22の豪雨により浸水被害が発生した河川の重点的な	整備をはじめ 優先	度の高い河川につい	動 活動指標の		
計	目的を達 成するか て護岸工事等を行い、河川整備の進捗を図ります。	正隔となりの人後几	Q 0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の を参考に、活 状 の状況をチョ		
画	196.9 (201)			况 O (() () () () ()		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実績	27年度目標	27年度実績	活動	めの状況
	(上段:指標名 下段:指標の説明)	下段:26年度実績	2/平及日保	(達成率)	評	価理由
	河川整備率	81 %				
l						
活動	河川の拡幅や河床の掘削等を行い、河川整備率を上げることにより、		83 %			
指	治水対策を進めます。 					
標					1	
		-				
					1	
				1		
	_[Ch	eck】評価(分	析)			
			1/17			
分	【成果の状況】 【活動の状況】					
析	を踏まえた分析					
及 び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点					
課						
題	「経済性」(同成果を低コストで)					
の整	「効率性」(同コストで高成果を)					
華	の分析 ※民間活力導入の視点					

	PDCAチェックシート(平」	ポークフ 4年	RÈ				担当	局	建設局
		W 21 4	反	大利計画			担当	課	緑政課
	事業概要						課長	:名	柴田
事								施金	策番号
業	健康づくりを支援する公園等整備事業						Π.	0	(2)
名							Ι	2	- (3) - ④
								直営	■ 補助金
事	 公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開	催して 利田老に	估ı.	大を説明! ます				人 如禾	託 □ 負担金
業			更し	りって記りしより。			事 □ 業	王卲安	武 📙 貝担並
概要	また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実						≩ □	一部委	託 🛚 指定管理
×							法	その他	!
			_	目安の金額		長 0.10 人	-)
コス	事 27 + 及 3 / 7 - 成		人 件	ロダの並設		長 0.10 人	(人件費	備老)	
۱î	業		書	3,650 T				um ·J/	
					相	战員 0.20 人			
	To the second	Action】改善							
	L/	Action工政程							
	 H25年度の	見							
課	評価結果高齢者の健康増進のため、健康遊具の利用促進につながる	直 し 運動	*# =	室や普及員の養成な	・ビナル	こい 健康状態	の利用	ロ ン # 1一:	ダルナナ
題	を受けてうに努めます。	内 運動	字义 三	主や音及貝の食成る	C 21	い、健康避長	:07年1月11	た迷!〜:	分のより。
	の課題	容							
			—						
	【Plan】計画)。] 実施	\rightarrow	Che	eck】評価
		どのトンか中田・	た中	理! たいか)				, On Ic	
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか	、このような成果で	r天	況しにいか)	成	代表的な成績	里指		
I⊟					果	標の実績など			
的	主として高齢者健康的な高齢者が住まう社会				の状	参考に、成果	もの		
					況	状況をチェッ	ク		
	15.15		_			de et et de			- 4b ym
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績		27年度目標		年度実績 達成率)			の状況 西理由
	(工校:相保石 下校:相保の説明と日保政定の考え方)	17权.20年及天	共			连队平)		8T 1	叫理田
	健康遊具を設置した公園で運動教室を行う公園数	_ ,	. ==						
٠	保健福祉局と連携し、高齢者の健康増進につなげるため、運動教室を	2 4	量と						
代 表	行った公園数を設定しています。また、健康遊具の使い方を知る市民			10 園					
的	を増やし、身近な公園で自発的な健康増進活動が行われていく社会を 目指します。			園					
な									
成	[(最終目標と目標年度)30公園 平成36年度								
果指									
標									
		•		•					
活					活				
動	とうべっし 児は気が足し連携して 小馬に配業した健康が見た利用して	て、高齢者向けの	運動	教室を行います。	動	活動指標の			
計	目的を達成するか 本地 本土 大陸 は 一	てもらい、高齢者	の仮	建康づくりを推進し	の状	を参考に、活の状況をチェ			
画	tst.				況	0,000	- / /		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実統	清	07 F		年度実績		活動	の状況
	(上段:指標名 下段:指標の説明)	下段:26年度実		27年度目標		達成率)			西理由
	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数								
	同即日に北慮した佐承処共の改造五函数	2 1/2	康	,					
活	 各区に健康遊具(7種)を設置する拠点公園を整備し、高齢者の健康増			1					
動	進につなげていきます。								
指							_		
標									
		1 1 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =							
	[Che	eck】評価(タ	计析	7)					
,	【成果の状況】								
分析	【活動の状況】								
77	を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、								
び	外部要因などの視点								
課									
題の	「経済性」(同成果を低コストで)								
の	「効率性」(同コストで高成果を)								
華	の分析 ※民間活力導入の視点								

	PDCA	、チェックシート	(亚点	77	年度	宝繕証価)			担当月		建設局
	r D G F			, <u>L</u> I	十次	大鴨叶叫			担当記	***	路計画課
		争業	概要						課長	-	喜洲
事業名	ボランティアネットワー	一クの推進(道路サポ	ポ ーター))					ш –	施策番号 1 - (1) - ③
事業概要	市が維持及び管理する道路に どにより支援します。	おいて、道路清掃・美化などのポ		活動を行う	地域の団	引体を対象に、清掃月	月具や	花苗の支給な	事業手	全部委託 [□ 補助金 □ 負担金 □ 指定管理
コスト	事 27年度当初予算額 業 費 17,810 千	27年度執行額 千 円	;)		人件費	目安の金額 9,400 千	田仔	果長 0.05 人 系長 0.17 人 戦員 0.95 人	(人件費値	情考))
			[Ac	ction]ī	·····································						
課題	注成していますが、 登録団体数は、微	PRだけでなく、より効果的な方法	行っている	直し	体的な過 めに集ま	ペーター制度の運営 運営を促すとともに、 らり、身近なところでの つ団体がより活動し	区毎に の新規	に道路サポータ 見活動団体の網	・一活動団 き成促進を]体が交流・ <u>-</u> 図ります。	·連携のた また、現在
		【Plan】計画						Do】実施	→ [Check	】評価
目的	対象(誰を、何を)環境美化ボランティア活動	目指す状態(どのような状態に 道路、公園、河川のボランティフ 共有化(ネットワーク)を行うこと り、安全安心なまちづくり等の指	ア活動を行った。	うこと、団()さらなる針	本相互の「	青報交換や活動の	成果の状況	代表的な成績標の実績など 参考に、成果 状況をチェッ	どを 見の		
		」 ☆は、目指している状態を文章で記載 指標の説明と目標設定の考え方)	載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		/年度実績 /達成率)		成果の状 評価理	
代表的な成果指標		まちづくり等の推進を図るために 増加することが望ましいため、加 団体数 —		196	団体	220 団体			-		
活動計画	どうやって 目的を達成するか 成される「北九州市 し合い、活動団体自 とともに、新規加入	に引き続き、清掃活動等の支援 団体の交流・連携を図る目的で約 5道路サポーターの会」では、区約 当らが課題解決を図ります。また 、団体を掘り起こします。	総会を開催 会を設置し、 、区会で培	します。道 て、身近な	路サポー ところで活	ター活動団体で構 活動団体同士で話	活動の状況	活動指標のきを参考に、活の状況をチェ	i動 ニック		
		aは、目指している状態を文章で記載 名 下段:指標の説明)	載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		/年度実績 (達成率)		活動の状 評価理	
活動指	により、道路サポーター活動に	促進のためのPR活動等 、国土交通大臣表彰への積極的 ついて市民の方に関心を持って)結成促進につながるよう努めま	かな推薦	5定通り実	施	実施					
標									_		
			Chec	~レ】[記/	而八米						
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点		- TO Ue(四(分析	, 					
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点										

事		キェックソート	(巫成 97	年度	実績評価)			担当月		
事	FDGA		-	十個	大模叶叫			担当記		管理課
事		事業根	以 安					課長		菊山 ————
		5.5.44.47.17.17.17.17.14.4	~ \						施策番号	•
業名	ホフンナイバネットリー	ークの推進(公園愛護会	会)					ш –	1 - (1) - ③
									±# -	++ CL A
事										補助金
業		れるボランティア団体で、公園の美		の点検や	禁止行為の連絡・公	園利用	用者のマナー	事 □	全部委託 🗆	負担金
概	づくり・市民花壇づくりなどを行し	ハ、活動面積に応じて活動費を助用	或しています。					条 □	一部委託 🗆	指定管理
×								法	その他	
<u> </u>	事 27年度当初予算額	27年度執行額 (事業費備考)		人	目安の金額	18	果長 0.24 人)
 	alle	Ŧ		八		_ 伊	系長 0.45 人	(人件費債	(考)	
۲	費 45,428 円	Ė		費	18,135 千	円	裁員 1.45 人	1		
			(Action)	改善						
	1105年中の 京松ルに 511級サラ	ような 1.15 ようしょう 1.15 よう 1.15 ようしょう 1.15 ようし	見はる							
課	評価結果すが、今後も公園愛	を護会の活動について市民の方に	関心をし	公園愛	養会活動についての	PRや	債極的な表彰	、表彰の批	推薦を行い、	結成促進
題		園愛護会の結成促進につながる。	よう努めま 内	に努める						
	の課題す。		容							
		【Plan】計画					Do】実施	→ [Check)	評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にし	たいか、どのような	は成果を実	現したいか)	成				
l						果	代表的な成果			
的	街区公園の維持管理	公園の清掃や除草などの維持管				の	標の実績なる参考に、成果	こで		
	因此四四四四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	会と協働による事業の実施を図る 	るため、公園愛護会	会の結成の	産進を目指します。	状況	状況をチェッ	ク		
	lie im								# # ~ #!	· —
		は、目指している状態を文章で記載) 音標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年		27年度目標		(年度実績 (達成率)		成果の状: 評価理由	
	公園愛護会団体数	I IN O BIBLIO I IN BOOK OF THE PROPERTY OF THE				-	.Æ/% T /		рі іш-тр	•
	公园发践云凹体数		1,158	団体						
代		不況などの影響に伴い、ボランティ								
表 的	動を行つ団体の解散もあること/ H27年度時点で1,160団体を目‡	から、全体の結成数を現状維持とし おします。	^		1,160 団					
_即		100170						-		
成	(最終目標と目標年度)	_								
果										
指								1		
指標										
指										
指										
指										
指										
指標	八国巫进众。叶代	企のなけたに、 連切り吹きな の	○江系h女士 +巫 士→			活				
指標活動	とうやつ (エコニノファニー:	金の交付を行い、清掃や除草等の こ出展し、道路サポーターや河川2			の活動を紹介しま	動	活動指標の活動指標の			
指標活動計	目的を達す。	こ出展し、道路サポーターや河川	愛護団体とともにな		€の活動を紹介しま	動の	活動指標のを参考に、活の状況をチェ	動		
指標活動	目的を達す。		愛護団体とともにな		€の活動を紹介しま	動	を参考に、活	動		
指標活動計	とつやっく 目的を達成するか 禁心な活動団体の 指標(数値化できない場合	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載)	愛護団体とともにないます。 上段:25年	公園愛護会		動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック	活動の状	
指標活動計	とうべつ(目的を達成するか	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 3 下段:指標の説明)	受護団体とともにな います。 上段:254 下段:264	公園愛護会 平度実績 平度実績	での活動を紹介しま 27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチョ	・ック	活動の状 評価理由	
指標活動計	とつやっく 目的を達成するか 禁心な活動団体の 指標(数値化できない場合	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 3 下段:指標の説明)	受護団体とともにな Nます。 上段:25年 下段:26年 予定どおり	公園愛護会 平度実績 平度実績		動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画	コライフステージー 目的を達成するか	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 活動等 ・都市緑化祭での市長表彰の実施	受護団体とともにな ハます。 上段:25年 下段:26年 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績		動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計	とつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につ	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	とつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 活動等 ・都市緑化祭での市長表彰の実施	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につ	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につ	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につ	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	こ出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) と 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につ	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会 平度実績 平度実績	27年度目標	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	をつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標/ 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土コライフステージへの出展や、 土文通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたた	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	を護団体とともにな ハます。 上段:254 下段:264 予定どおり 施	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標 活動計画 活動指標	とつわって 目的を達成するか	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標活動計画活動指	とつわって 目的を達成するか	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標 活動計画 活動指標 分析及	とつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土立交通大戸で表彰への積極的な 市民の方に関心を持っていただ う努めます。 【成果の状況】 【活動の状況】 【活動の状況】 経済を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標 活動計画 活動指標 分析	とつわった エコライフステージー す。 熱心な活動団体の・ 精標 (数値化できない場合 (上段:指標 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、土交通大臣表彰への積極的な市民の方に関心を持っていたたう努めます。	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標 活動計画 活動指標 分析及び課題	とつわって 目的を達 成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの間機的な 市民の方に関心を持っていただ う努めます。 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえたか有効性、 外部要因などの視点	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		
指標 活動計画 活動指標 分析及び課	とつわって 目的を達成するか 指標(数値化できない場合 (上段:指標 公園愛護会結成のためのPR記 エコライフステージへの出展や、 土立交通大戸で表彰への積極的な 市民の方に関心を持っていただ う努めます。 【成果の状況】 【活動の状況】 【活動の状況】 経済を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、	に出展し、道路サポーターや河川 各種表彰への推薦を積極的に行い は、目指している状態を文章で記載) 下段:指標の説明) 動等 都市緑化祭での市長表彰の実施 推薦により、公園愛護会活動につた き、公園愛護会の結成促進につた	受護団体とともにな ・	公園愛護会	27年度目標 実施	動 の 状況 27	を参考に、活の状況をチュ	・ック		

		PDC/	Aチェック	シート (亚	成 97	午度	中华强体	١		担当	6局	建訂	2局
		PDC	AFTIT		406 Z I	十次	大模矸侧					-	境課
	I			事業概要						課長			Ш
F E	ボランラ	ティアネットワ	一クの推進(河	1川愛護団体)								
i	,,,,,,,,,,		γ «γ πλε (γ		,					Ⅲ -	1 -	(1)	- (3
											直営		補助金
Į.	 地域の住民	そで構成する河川愛	を護団体に清掃道具題	構入の費用等となるネ	甫助金を交付	けすることに	こより、美化活動を原	よげま [・]	す。また、美化	事□	全部委託	ŧ 🗆	負担金
E E			域の河川を身近に感							栗	課長名	ŧ 🗆	指定管理
τ.										法	その他		
1	事 27年	度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)		人	目安の金額	詩	果長 0.02 人	(
ζ.	業費	2,420 千	千 円			件費	1,480 T	-Ш	系長 0.05 人	_	備考)		
	Į Į					具		墹	战員 0.10 人				
				[Action]	改善							
	いた左曲の	後継者不足から活	5動を断念する団体も	あり、これを引き留め	oる 見	市ホーム	ページにおける河	川愛護	啓発欄の充実	ξや、エΞ	コライフス	テージ	をはじる
	H25年度の 評価結果	のは難しく、団体数がしたがら会後も	数の単純増加を期待す 、河川愛護団体の活動	することは困難です。 動について声足の方	し 直 に し		ベントにおける河川						
围	を受けて の課題	関心を持っていた	だき、河川愛護団体の		る 内	す。また	、河川功労者表彰や	ウエコラ	ライフステージ	の様子等			
		よう努めます。			容	川 変記	隻活動のモチベーシ 	ヨン稚	持を図ります。				
			(Pla	n】計画					Do】実施	\rightarrow	Che	ck]	平価
	対象(誰を、	. 何を)		う な状態にしたいか	、どのような	成果を実	現したいか)	成					
Ħ								果	代表的な成果標の実績など				
ĸ	市民		地域の河川を身近	に感じてもらい、美化	に活動を広げ	でいきます	† 。	の状	参考に、成果	₹の			
								況	状況をチェッ	9			
			ー 合は、目指している状態		上段:25年		27年度目標		年度実績				,
			指標の説明と目標設定	2の考え方)	下段:26年	F 皮 美 積	1 1	(達成率)		評価	理由	
	河川愛護団]体数 ————————————————————————————————————			67	団体							
t	河川におけ	る美化活動を広げ	う るためには、地域での	D意識を高めるため			eo 団						
表的	に、身近な	団体を作り、情報角	を信を行う必要があり										
な式	 (最終目標。	と目標年度)72団は	目標年度)72団体 平成30年度末										
果								-		1			
指標													
		711127#174	****	まほしいせかってる	1++m+			活					
活動	どうやって		.補助金の交付を行い ジに出展し、道路サオ				体の活動を紹介し	動	活動指標の	実績			
Ħ	目的を達 成するか	ます。 ・永年に渡って熱』	心に活動に取り組まれ	している愛護団体や:	会員の方を.	福岡県の	河川功労者表彰な	の状	を参考に、活の状況をチェ				
画	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	どへ積極的に推薦				121. 1711-1		況					
	指標		合は、目指している状態 第名 下段:指標の説明		上段:25年 下段:26年		27年度目標		'年度実績 達成率)		活動の	り状況 理由	ļ
	河川愛護団]体結成促進のたぬ			予定どおり	実					H I Imi	<u></u>	
				まが、の種類的な	施施		+ *						
舌動	推薦により	、河川愛護団体の	ら、福岡県河川功労者 活動について市民の	方に関心を持ってい			実施						
旨	ただき、河川	愛護団体の結成	促進につながるよう努	子めます。]			
票													
										1			
				【Ch	eck】評·	価(分析	')						
۵.	【成果の状												
分析	【 活動の状 を踏まえた:												
及 び	※事業手法 外部要因な	の有効性、											
果													
題の		(同成果を低コストで)											
整	の分析	(同コストで高成果を)											
里	※民間活力	導入の視点											

								建設局	∄ 8
	PDCAチェッ	ックシート(巫)	成 97 年度	宇华顿体)			担当局	建	設局
	PUCAFE	•	% ZI 十次	大鴨計画			担当課	緑	政課
		事業概要					課長名	Ē.	柴田
事								施策番号	
業名	「花やみどり」による彩りと潤し	ハのあるまちづくり					ш –	1 - (2)) - ①
事業概要	度を活用し、都市に残された貴重な緑の保金	れた 増やスポンサー 花壇、う。 す。 道路や公園などの緑は、 環境をつくる道路などの緑の 里を行うことで健全な緑の育り 全に努めています。	えるっちゃ!花壇といっ 、都市景観を印象付け の整備については、植	るとともに、快適な生 栽場所の生育空間: らに特別緑地保全地	生活環などを	境をつくりま 考慮した、ゆ まや保存樹制	業	部委託 □	補助金 負担金 指定管理
=	事 27年度当初予算額 27年度執行	(事業費備考)	人	目安の金額		長 0.10 人	()
<u>ス</u>	業 費 100,023 千 円	千 円	件 費	23,150 千	四	長 0.70 ^人	(人件費備考	i)	
	17	- ' '			申	員 2.00 人			
			Action】改善						
課題	H25年度の評価結果を受けての課題		・小倉駅・宿根植	を壇の配置及びデザ 周辺など主要花壇の物の使用による植を 対得の強化	り拡大。	上修景効果の個	低いフラワ-	−ポットの-	一部廃止
		Pol. 15List			Z F	100	. 70		= ज /==
		【Plan】計画			L	o】実施	→ [C	heck	評価
目的	①市内各所 育てていき ②都市内の緑 い」と思える	((どのような状態にしたいかれ、四季折々に花を楽しむこ 市民はもちろん、ここを訪れ 「花とみどりと潤いのまちづら 保全地区において、土地取	ことが出来る「花のまち ことが出来る「花のまち こた人にも「住んでみた くり」を目指します。	北九州市」をさらに	成果の状況	代表的な成果標の実績など 参考に、成果 状況をチェック	をの		
	指標(数値化できない場合は、目指して (上段:指標名 下段:指標の説明と		上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標		年度実績 達成率)		V果の状況 評価理由	
	公共花壇及び市民花壇の面積								
代表	公共花壇及び市民花壇は市民に一番身近 民の花づくりの実績に直ちに反映されるもの	です。今後も市民との協働	44,693 m ²	46,587 m ²					
的な	で「花とみどりの潤いのまちづくり」の推進に								

成	(最終目標	と目標年度) 46,587㎡ 平成27年度					
果 指	特別緑地份	呆全地区の買収面積	2.572	m²			
標	 特別緑地(す。	R全地区の買収を行い、都市の中の緑の保全を行っていま	2,072		16,973 m ²		
	(最終目標	と目標年度) —					
活動計画	どうやって 目的を達 成するか	市民花壇においては市民との協働を推進していき、種からの ターの主催する講座の開催などを推進していきます。 公共花壇においては、市民ボランティアとの協働や企業・団 に努め、より効果的な場所に設置し事業効果を維持している 緑地保全地区においては、買入れ申し出のある土地につい	体の協力を得 きます。	ながら交		活動 活動指標の9 の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動
	指標	【 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度 下段:26年度		27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	花づくりに	関する講座の開催	10				
活動指	す。また、F	ーディネーター主催で花づくり講習会を市民向けに開催しま 市民花壇ボランティアを対象に講習会の開催を行い、花づく ボランティア間の交流の推進を行います。			10 回		
標							

	【Check】評価(分析)									
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点									
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点									

		PDCA	チェック	シート (平月	龙 27	年度	実績評価)			担当局	建設局
				事業概要		1 100				担当課	みどり・公園整備課
_				争耒慨安						課長名	藤井 藤井 医策番号
事業名	地域に	役立つ公園づ	ぶり事業								- (2) - ①
事業概要	行うことで、 計画段階か	これまで以上に利用	される公園を目指し することで公園への	崔するワークショップ ます。 愛着を高め、地域活動						季 □ 全部 葉	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理
コスト	事 27年	度当初予算額 175,000 千 円	27年度執行額 千 円	(事業費備考)		人件费	目安の金額 6,825 千	田	果長 0.05 人 系長 0.10 人	(人件費備考))
	[본]		П			, A		41	哉員 0.70 人		
				Ţ,	Action]i	改善					
課題	H25年度の 評価結果 を受けて の課題		者の年齢層に偏りが よる努力が必要です。	見られるため、多世の	見直し内容	会、小学への遊り	J協議会には、町内 校PTA へ、参加の〕 ₹アンケートや校区「 、さまざまな立場の	声かけ 内全戸	rをお願いします へかわら版をi	す。その一方で 配布してのPR	で、市でも、小学校 等を行い、さまざ
			[Pla	n】計画					Do】実施	→ [Ch	eck】評価
	対象(誰を、	何を)	目指す状態 (どのよ	うな状態にしたいか	、どのような	成果を実	現したいか)	成	 代表的な成身	# tb	
目的	市民		公園を身近に感じら	れ、積極的に活用し	でもらう状態	態にするこ	とを目指します。	果の状況	標の実績など 参考に、成果 状況をチェッ	どを 見の	
			は、目指している状態 は標の説明と目標設定		上段:25年 下段:26年		27年度目標		年度実績 (達成率)		果の状況 価理由
	市民が公園	を身近に感じられる	状態			=					
代表的な	せた公園を す。		ショップを重ね、地均 事業による整備公園		20 園					-	
成果指標											
活動計画	どうやって 目的を達 成するか	H27年度は、2校区	፤でワークショップをほ	昇催し、計画策定を行	ういます 。			活動の状況	活動指標の3を参考に、活の状況をチェ	動	
	指標		は、目指している状態 名 下段:指標の説明)	を文章で記載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		年度実績 (達成率)		かの状況 価理由
	計画策定核				2	校区	。校				
活動指			や街区公園の老朽化 校区を選定し、計画領				2 校 区				
標											
										_	
				[Che	eck】評 [·]	価(分析	·)				
分析及び	【成果の状 【活動の状 を踏まえた: ※事業手法・ 外部要因な	況】 分析 の有効性、									
課題の整理	「経済性」 「効率性」 の分析 ※民間活力:	(同成果を低コストで) (同コストで高成果を) 導入の視点									

	PDCA	メチェックシート(平	成 27	年度	字籍評価)			担当局	建設局
	1 5 6 7	事業概要		- 				担当課課長名	水環境課 関川
事		于未似女						P1-24 H	
業	身近に自然を感じる	河川整備事業							- (2) - ③
名								ш – т	= (2) = (3)
事	これまでの河川東米は沿北敦は	#ナカシリー〜 たわか マキナレナ	生物の生白	少女 理	快かじ。の町卓がて		さいはして	■ 直営	□補助金
業	的な水路のようになってしまいま							alle.	委託 🗆 負担金
概要	そこで、都市内に唯一残された。	貴重な自然空間である河川を、水際の植 「、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近「	直生や自然なだ こ白然を成じる	流れの復	「元などにより、生物 暗慗備事業を行って	の生息	↓•生育環境に ·	葉 手 □ 一部	委託 🛚 指定管理
X	記念した正備を行うことによって	、ハッグルの方面に同様の方面があることは一般に	CD M. C. ISO	D)/X22%	先正備事業を行うて	0.6.7	•	法 □ その	他
	事 27年度当初予算額	27年度執行額 (事業費備考)		人	目安の金額	調	長 0.50 人	()
ᅐ	業 費 138,000 千 円	壬		件	48,250 千	PH 1	長 0.50 人	_	
١-	費 138,000 円	円		費	.5,255	' 聙	貴 5.00 人		
			Action]	女善					
			見	^ 🗆					
課		こは、積極的に環境に配慮した整備を行	って直	会後±.⊦	り一層、環境に配慮	11 +-詳	ま 農の敕備を行	こい 市民が良	3.近に白然を成じ
題	を受けています。今後も、より	リー層環境に配慮した護岸の整備の進	歩を し 内		「川整備事業に取り網			10.41117/10.5	近に日然を認じ
	の課題		容						
							7 1/-		. 7
		【Plan】計画					Do】実施	→ [Ch	eck】評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような月	 成果を実	現したいか)	成	 代表的な成身	里塢	
目		 ホタルなどの生物の生息・成育環境に配	和恵」と数件:	た行うこし	- によって 白然た	果の	標の実績など	どを	
的	河川	小ダルなどの生物の生息・成育環境に 身近に感じる河川を取り戻します。	北慮し/に登/岬?	と1丁フこと	によって、自然を	状	参考に、成果 状況をチェッ	見の ク	
						況	NOTE / 17		
		は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		年度実績		果の状況
		旨標の説明と目標設定の考え方)	下段:20年	及天限		_ (達成率)	āï	価理由
	環境に配慮した護岸整備		_						
代	 護岸工事を行う際には、生態系	に配慮した整備を行うことで、自然を身			単年度目				
表的	近に感じる状態を目指します。		標設定なし						
な	 (最終目標と目標年度)								
成果	(取べ口伝口伝子及)								
指									
標									
=						活			
活動	どうやって 目的を達 河川整備を行う際に	- 明られた動地の中で、具十四片能で	/-====================================	供去な め	テいキナナ	動の	活動指標の乳		
計画	日的を達 河川登偏を行う除い 成するか	こ、限られた敷地の中で、最大限生態系	に配慮し/2金	佣を進め) Cいさまり。	状	を参考に、活 の状況をチェ		
						況			N = 15 x=
		は、目指している状態を文章で記載) 3 下段:指標の説明)	上段:25年		27年度目標		年度実績 達成率)		めの状況 価理由
	環境に配慮した護岸整備延長	1 120 Jan 197 - 198 277					~~~~	41	IM-T P4
	PA-201-Holles O'CHE/T IE MIN CEL		34,700	m					
活動		息・生育環境となっている水際部を保			34,900 m				
指	全・復元するなど、生物に配慮し 	ンに護序の登 備を進めま り。							
標									
				斯 / 八七	• \				
		[Cn	eck】評值	四(分析	7				
分	【成果の状況】 【活動の状況】								
析及	を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、								
び	外部要因などの視点								
課題	「奴汝州」								
の	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)								
整理	の分析								
-	※民間活力導入の視点								

					担当局	建設局
	PDCAチェックシート(平		[美積評価]		担当課	道路計画課
	事業概要				課長名	喜洲
事	バリアフリーのまちづくり				施	策番号
業名	ハウァフリーのまら ⁻ つくり				Ⅲ — 1	- (3) - ②
_					■ 直営	□ 補助金
事業	- 高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、道路・公園	のバリアフリー化を行	い、バリアフリーのま	ちづくりを進めま	事 口 全部	委託 🗆 負担金
概	す。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブ				 業 	委託 🗆 指定管理
要					法 □ その	他
	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考)	人	目安の金額	課長 0.10 人	()
ス	業 051600 千 千	件	26,150 T	展長 1.00 人	(人件費備考)	
	費 951,600 円 円	費	20,100 1	1 職員 2.00 人		
		Action]改善				
	H25年度の本市の高齢化率は政令市の中で最も高い状況となっています。?	見				
課	評価結果 な少子高齢化の進展に対応するため、バリアフリー化の推進は、	. 今 💾 着実な	取組ができるよう、「‡			
題	を受けて 後も重要な取組となってくることから、着実な取組を継続することの課題 要であると考えます。	から 内 の連携	を今以上に強化し、対	物率的な事業進捗が	図れるようにエ	収り組みます。
	V III NO	容				
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか	、、どのような成果を実	現したいか)	成		
目				■ 代表的な成分 サイス		
的	高齢者や障害者などを含めた 全ての人 バリアフリー新法にも対応した、よりきぬ み、歩いて暮らせるまちづくりを推進しま		フリー化に取り組	が 参考に、成果	! の	
	主ての人	→ 9 °		状 状況をチェッ	2	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実績	27年度目標	27年度実績		見の状況
	(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	下段:26年度実績	27千及日禄	(達成率)	評	価理由
	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	88 %				
代	主要駅周辺の主要経路についても、「北九州市福祉のまちづくりネット	00 70				
表的	ワーク(障害者団体)」等との意見交換を踏まえ、整備を行っていることから、整備率を指標とします。		90 %			
な					_	
成果	(最終目標と目標年度) 100% 平成32年度				1	
指						
標						
					-	
活				活		
動	どうやって 「北九州市福祉のまちづくりネットワーク(障害者団体)」等と はいます はいます はいます はいます しょう とします しょう	≤協議や現地点検を重	ねながら、歩道の	動 活動指標の第 の を参考に、活		順調
計画	成するかがリアフリー化の整備向上を図ります。			状 の状況をチェ		10CH11
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実績		況 27年度実績	注重	めの状況
	(上段:指標名 下段:指標の説明)	下段:26年度実績	27年度目標	(達成率)		価理由
	步道整備延長	5.1 km				
活			4.5 km			
動	歩道設置や歩道のバリアフリー化を行った整備延長					
指標					-	
last.	主要駅周辺のバリアフリー特定経路の整備延長	0.3 km				
	主要な駅の周辺において、公共施設や病院などを結ぶ主要な道路を		0.3 km			
	主要経路と定めて、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導 用ブロックの連続誘導などのバリアフリー化を進めます。				1	
			1	1	<u>'</u>	
		eck 】評価 (分	f)			
分	【成果の状況】 【活動の状況】					
析及	を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、					
び	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点					
課題	「経済性」(同成果を低コストで)					
の	「 粧海1生」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を)					
整理	の分析 ※民間活力導入の視点					
	WANDING OF TAXAA NOW					

	PDCAチェックシート	(亚成 97	午色	宇华强体)		担当局	建設局
		•	十次	大模叶叫		担当課	道路計画課
		以 安				課長名	喜洲
事業な	通学路の安全対策						策番号 - (3) - ②
名						■ 直営	□ 補助金
事業概要	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通となって、さらなる通学路の安全対策を推進します。	学できる環境を整	きえるため、			事業	系託 □ 負担金 系託 □ 指定管理
コス	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考) 業		人件	目安の金額	課長 0.10 人	1 1 11 -11 11 -11)
ĥ	葉 805,000 千 円 円		費	26,150 千	円 職員 2.00 人		
		[Action]	改善		·	·	
課題	平成24年4月以降、全国各地で登下校中の児童等が死傷する H25年度の 交通事故が連続して発生したことを受け、緊急合同点検を実施 評価結果 するなど通学路における交通安全の確保に取り組んでいま 取組が着実かつ効果的に実施できるよう、教育委員会や警察などの関係機関と						
	【Plan】計画				【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
	対象 (誰を、何を) 目指す状態 (どのような状態にし	たいか、どのようフ	な成果を実	現したいか)	成の土土	B.15	
目的	であった。				どを 果の		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25 下段:26	年度実績 年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		の状況 西理由
代表的な成	通学路の危険箇所における対策完了箇所数 平成24年度に実施した通学路の緊急合同点検以降、学校から改善の要望があった危険箇所に対して、効果的な対策を検討し、実施していきます。 (最終目標と目標年度)		箇所	単年度目標設定なし			
人果指標							
活動計画	どうやって 目的を達成するか 対策を推進します。	で以上に連携を図	図りながら、	効率的・効果的な	活動指標の の を参考に、 i 状の状況をチェ	5動	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25 下段:26	年度実績 年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)]の状況 西理由
	歩道整備延長	3.1	km				
活動指	歩道の新設や拡幅整備を行った延長			3.0 km			
標	防護柵設置延長	0.9	km			7	
	歩車道の境界部などに設置した防護柵の延長			2.0 km			
		(Check)評	価(分組	f)			
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	1:1					
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点						

	PDCAチェックシート(平)	成 27 年度	宝鑰輕価)		担当局	建設局		
	事業概要	W 21 T/3			担当課	道路計画課		
事	●				課長名施	喜洲 策番号		
業名	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進				V - 1	- (2) - <u>1</u>		
事業概要	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、まちの賑わいを推進します。	魅力的な都市環境の	創造につながる道路	環境整備を行い、	業	□ 補助金		
コスト	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考) 業 1,681,791 千	人件費	目安の金額 61,500 千	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 4.00 人	(人件費備考)			
		Action】改善						
課題	- 「「「「」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」							
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価		
目的	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 成 ペパー 大き はんしん アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ							
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		lの状況 価理由		
代表的な成果指標	公共交通結節機能の強化 黒崎駅南口で収容しきれない機能を、北口に転換するため、黒崎駅北口駅前広場と一体となって自由通路を整備することで、黒崎駅周辺の交通結節機能の強化を図ります。それにより、自由通路利用者数が約2000人増加します(平成24年度比較)。 (最終目標と目標年度)自由通路利用者数平成24年度比約2,000人増平成30年度	_	単年度目標設定なし					
活動計画	どうやって 目的を達 成するか 備を進めていきます。	号ながら、協議を密に	行い、まちづくり整	活 動 活動指標の9 の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動			
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		bの状況 価理由		
活動指	事業の進捗率(黒崎駅南北自由通路、黒崎ペデストリアンデッキルーフの整備) 黒崎駅における南北自由通路及びペデストリアンデッキルーフ整備の 円滑な進捗に努めます。	7 %	70 %	(ALIVITY	ni ni	land		
標	事業の進捗率(小倉駅南北自由通路のリニューアル) 老朽化した天井の張替等に併せて、小倉駅南北連絡通路のリニューア	5 %	51 %					
	ルを行います。							
		eck】評価(分析	-)					
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点							
題の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点							

「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

	PDCAチェックシート(平成 27	7 年度	実績評価)		担当局 建設局 担当課 河川整備課		
	事業概要				課長名 清水		
事業	旦過地区まちづくりに資する河川整備事業				施策番号		
名事業概要	長年市民に親しまれている旦過市場をさらに魅力ある商業拠点とするために、地 神嶽川の治水安全度を高める、河川事業を推進します。	元と協働で旦	1過地区まちづくり整	備計画を策定し、	V - 1 - (2) - ① ■ 直営 □ 補助金 ■ 2 全部委託 □ 負担金 業 ■ 一部委託 □ 指定管理 法 □ その他		
コスト	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考) 業 402,000 千 円	人 件 費	目安の金額 16,950 千月	課長 0.30 人 係長 0.60 人 職員 1.00 人	(人件費備考)		
	Action	改善					
課題	H25年度の 評価結果 を受けて の課題 旦過地区まちづくり整備計画の策定にあたり、市場関係者が約 200名と多数であり、権利形態や営業形態が複雑であるうえ に、市場関係者の中で意見がまとまっていないなど、合意形成 に向けて課題があります。 日滑な合意形成を図るため、北九州市と市場代表者及び小倉都心まちづくり関係者で整備計画(素案)の検討委員会を設立し、整備計画の素案を取りまとめました。 中成27年度には整備計画を策定します。 また、河川の改修においては市場対岸(馬借地区)の護岸工事に着手します。						
	【Plan】計画			【Do】実施	→ 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 成果 (代表的な成果を実現したいか)				:を :の		
		5年度実績 6年度実績	27年度目標		成果の状況 評価理由		
代表的な成果指標	神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上 - 概ね50年に一度発生する降雨にも対応できるよう、神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上を目指します。 (最終目標と目標年度) -		-				
活動計画	どうやって 目的を達成するか ※福岡県:神嶽川の河川管理者	協議を重ねる	ます。	活 助 活動指標の写 を参考に、活 が状 の状況をチェ 況	動		
		5年度実績 6年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由		
活動指標	旦過地区まちづくり整備計画の策定状況 平成27年度の旦過地区まちづくり整備計画策定に向け、旦過地区まちづくり整備計画策定に向け、旦過地区まちづくり整備計画(案)を地元と協働で策定します。		策定	(ACPORT)	M I Day -25 bry		
傑	神嶽川の改修		100m				
	[Check]	平価(分析)				
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点						
ቚ題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点						

	PDCAチェックシート(平)	成 27 年度	実績評価)		担当局 建設局 担当課 道路計画課	
	事業概要				課長名 喜洲	
事					施策番号	
業名	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進				V - 1 - (2) - 2	
事業概要	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、まちの賑わいを推進します。	魅力的な都市環境の			■ 直営 □ 補助金 事業 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他	
コスト	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考) 人件費備考) 目安の金額 課長 1.00 人 (
		Action】改善				
課題	H25年度の評価結果 小倉都心部及び黒崎副都心部の駅前整備は、まちの賑わしないまではないです。 からない いっぱい からない いっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	「TAEL I AX 北田 ひょう	情実かつ効果的に実 「引き続き積極的に耳		E団体やJR九州等の関係者と	
	【Plan】計画			【Do】実施	→ 【Check】評価	
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような成果を実	現したいか)			
目的	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学				き の	
	 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
代表的な成果指標	公共交通結節機能の強化 黒崎駅南口で収容しきれない機能を、北口に転換するため、黒崎駅北 口駅前広場と一体となって自由通路を整備することで、黒崎駅周辺の 交通結節機能の強化を図ります。それにより、自由通路利用者数が約 2000人増加します(平成24年度比較)。 (最終目標と目標年度)自由通路利用者数平成24年度比約2,000人増 平成30年度	_	単年度目 標設定なし			
活動計画	どうやって 目的を達 成するか 備を進めていきます。	得ながら、協議を密に	行い、まちづくり整	活 動 活動指標の写 の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動ック	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由	
活動指	事業の進捗率(黒崎駅南北自由通路、黒崎ペデストリアンデッキルーフの整備) 黒崎駅における南北自由通路及びペデストリアンデッキルーフ整備の円滑な進捗に努めます。	7 %	70 %	(AE190-T7	BI im-z-r-	
標	事業の進捗率(小倉駅南北自由通路のリニューアル)	5 %				
	老朽化した天井の張替等に併せて、小倉駅南北連絡通路のリニューア ルを行います。		51 %			
	Ch	eck】評価(分析	-)			
分析及び課題	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点					
の整理	大力 					

	PDCA	チェック	ノート (平)	成 27	年度	宝繕評価)			担当局		設局
	. 507			~ £1					担当課		計画課
			事業概要						課長名		喜洲
事業	 自動車専用道路ネッ	トワークの救持	±						挤	並策番号	
名	ロ刧平守用坦比个ツ 	バノークの金り	Ħ						V - 2	- (2)	- 1
									■ 直営	- п	補助金
事	MARK	° 160 6 88 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		. 144 665		*	., -	m 154/ 61 m/ 4		委託 ■	
業 概	港湾・空港・鉄道ターミナルなど 動車専用道路ネットワークの整)構築や地域	薬間の連 携	통・交流促進を図るた	_め、均	東状放射型目	業		
要	30千年/11/2011 707 707		•						 	委託 🗆	指疋官理
			(市 米 弗/ 井 -2)						本 □ その	他	
] =	事 27年度当初予算額	27十八大八八成	(事業費備考)		人	目安の金額		果長 1.00 人	(人件費備考))
スト	業 1,550,000 千 円	千 円			件費	69,000 T	四	系長 2.00 人 戦員 5.00 人	- (八件其酬考)		
	17						41	3.00 八			
			(/	Action)	改善						
	24年度から25年度	にかけ事業はほぼ順									
課	FI25年度の 京価結果 に24年度において	は、新若戸道路の1期	の完成や黒崎バイ	パー直	斬完世!	用など計画的な整備	を図り	士士 車業費/	+ 一届の選:	切り 生山 オ	を図り
題	ナュルナ 人の郁巾局迷退路	接続など、目にみえて 線及び黒崎バイパス				よ事業展開を図ります		より。 尹木貝!	よ、 信の歴	八乙未午で	د امام.
	の課題 きるよう、事業進捗		こういても十級元が	容							
		(Plar	】計画					Do】実施	→ [Ch	eck]	評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態 (どのよ					成		- 11-		
		自動車専用道路であ トワークを重点的か					果	代表的な成果標の実績など			
的	交通物流機能の強化	を進め、アジアの玄	関口である本市の国	国際競争力(の強化を図	図ります。また、地域	の状	参考に、成果	₹の		
	市民の交通利便性の向上	間の連携・交流促進ワークの整備を進め	、市民の交通利便性				次	状況をチェッ	9		
	## (数値化できない場合			上段:25年	E度実績	07 F F F	27		成長	果の状況	2
		指標の説明と目標設定の		下段:26年		27年度目標		達成率)		価理由	
	広域物流ネットワークの強化										
				_							
代 表	戸畑枝光線の整備により、朝ピ 田地区(枝光)間の所要時間が					単年度目 標設定なし					
的	山地区(权儿/间0///安时间//	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	216490			保設になり					
な成	(最終目標と目標年度) 所要問	時間短縮 平成39年度									
果									1		
指標											
"											
活							活				
動		-クの強化及び地域間					動の	活動指標のきを参考に、活			
計画	成するか 車専用道路ネットワ	フーク(戸畑枝光線、国	道3号(黒崎バイバ	パス))の整備	帯を促進し	ます。	状	の状況をチェ			
Щ							況				
	指標(数値化できない場合	な、目指している状態を名 下段:指標の説明)	文章で記載)	上段:25年 下段:26年		27年度目標		/年度実績 (達成率)		助の状況 価理由	
	戸畑枝光線の事業進捗率	1 「秋、日日赤りかり)		1 72.20			<u> </u>	.足以平/	AT	一种一	
	ア畑权儿林の事業進抄学			5	%						
活	 産業拠点や地域間のアクセス	句上のため、戸畑枝光	線の整備を進め			18 %					
動指	ます。										
標									1		
			[Ch	eck】評	価(分析	f)					
Л	【成果の状況】										
分析	【活動の状況】 を踏まえた分析										
及	※事業手法の有効性、										
び課	外部要因などの視点										
題	 「経済性」 (同成果を低コストで)										
の整	「効率性」(同コストで高成果を)										
理	の分析 ※民間活力導入の視点										

	PDCAチェックシート	·(平成 27 年度	実績評価)		担当局担当課	建設局道路計画課
		· ·概要			課長名	喜洲
事						[
·業 名 ———	主要な道路の整備(恒見朽網線など)				V - 2	- (2) - <u>1</u>
事業概要	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、 を図ります。	市内の渋滞対策、物流ネットワ	フークの強化、地域間の	の連携・交流促進	■ 直営 事 □ 全部 業 手 □ 一部 法 □ その	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理
	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考	大	目安の金額	課長 3.00 人	()
スト	業費 4,154,749 千	件費	217,250 千円	係長 6.50 人 職員 15.70 人	(人件費備考)	
		【Action】改善				
課題	H25年度の 評価結果 を受けて の課題	⊭准塊を図っ	用など計画的な整備を な事業展開を図ります		は、一層の選打	尺と集中を図り、
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態に	したいか どのようか成里を宝	現した(いか)		/ [Ci	
目的	交通物流機能の強化 市民の交通利便性の向上 本市の競争力の強化を図るた ネットワークを形成します。また の向上などに資する道路・交通	め、物流拠点間のアクセスを強 、地域間の連携・交流促進、7	能化し、広域的な 作民の交通利便性	成果の状況 代表的な成別 標の実績など 参考に、成果 参 状況をチェッ	ごを もの	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記 (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	載) 上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		見の状況 価理由
	広域物流ネットワークの強化					
代表的な	恒見朽網線の整備により、新門司地区と北九州空港間の所要 36分から28分に短縮されます。	時間が	単年度目標設定なし		-	
成	(最終目標と目標年度)所要時間短縮 平成37年度					
操 構					-	
活動計画	どうやって 目的を達成するか 物流ネットワーク構築のため、道路の早期整備を仮するか	≧進します。また、整備中の道路	客については、供用	活 動 活動指標の の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記) (上段:指標名 下段:指標の説明)	載) 上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		かの状況 価理由
	主要な街路・道路の単年度完成延長(暫定での供用を含む)	2.5 km				
活動指	市内の渋滞対策やネットワーク強化のため、主要な街路・道路 を進めています。	の整備	3.2 km			
標						

	【Check】評価(分析)					
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点					
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点					

	PDCAチェックシート(平)	成 27 年度	実績評価)		担当局担当課	建設局道路計画課		
	事業概要				課長名	喜洲		
事					施	策番号		
業 名	自動車専用道路ネットワークの整備				V - 2	- (2) - 2		
事業概要	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの 動車専用道路ネットワークの整備を推進していきます。	D構築や地域間の連接 			業	委託 ■ 負担金 委託 □ 指定管理		
コスト	事業費 27年度当初予算額 27年度執行額 1,550,000 千円 千円円	人 件 費	目安の金額 69,000 千	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	(人件費備考))		
		Action】改善						
課題	H25年度の 評価結果 を受けて の課題 24年度から25年度にかけ事業はほぼ順調に進捗しました。特に24年度においては、新若戸道路の1期の完成や黒崎バイパスの都市高速道路接続など、目にみえて成果が現れた年になりました。戸畑枝光線及び黒崎バイパスについても早期完成で きるよう、事業進捗を図って行きます。							
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価		
目的	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか 自動車専用道路である戸畑枝光線及び 交通物流機能の強化 市民の交通利便性の向上 間の連携・交流促進、市民の交通利便 ワークの整備を進めます。	バ黒崎バイパスの整備 ることで、産業の振興 国際競争力の強化を図	を推進し、物流ネッ や新たな企業誘致 引ります。また、地域	成果 の 標の実績なと 参考に、成果 状況をチェック	を			
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	 27年度実績 (達成率)		見の状況 価理由		
代表的な成果指標	広域物流ネットワークの強化 戸畑枝光線の整備により、朝ピーク時において、響灘地区(安瀬)~東田地区(枝光)間の所要時間が43分から13分に短縮されます。 (最終目標と目標年度) 所要時間短縮 平成39年度	_	単年度目標設定なし	(足以平)	arr			
活動計画	どうやって 目的を達成するか 広域物流ネットワークの強化及び地域間のアクセス向上を 車専用道路ネットワーク(戸畑枝光線、国道3号(黒崎バイ/			活動 動 活動指標の9 を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動			
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		めの状況 価理由		
活動指標	戸畑枝光線の事業進捗率 産業拠点や地域間のアクセス向上のため、戸畑枝光線の整備を進めます。	5 %	18 %					
		eck】評価(分析	أ)					
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点							
応題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点							

	PDCAチェックシート (平成 27 年)	宝実績評価)		担当局担当課	建設局道路計画課	
	事業概		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		担	車崎計画課 喜洲	
事					W. F. F.		
業名	主要な道路の整備(恒見朽網線など)				V - 2	- (2) - ②	
事業概要	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図ります。					■ 補助金 委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理 他	
7	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考)	١		課長 3.00 人	(人件費備考))	
スト	業費 4.154,749 円	4		円 係長 6.50 人 職員 15.70 人			
		【Action】改善					
課題	ニード・「一部」「備を行っている的線道路「ついては、引き続き事業推獲を図っ」」、「ことが、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには						
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価	
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にした	いか、どのような成果を	実現したいか)	成			
目的	交通物流機能の強化 市民の交通利便性の向上 本市の競争力の強化を図るため、ネットワークを形成します。また、地の向上などに資する道路・交通ネッ	は間の連携・交流促進、	市民の交通利便性	代表的な成態である。大規模を表現では、成果の大規模を表現で、成果を表現で、成果状況をチェッ	どを 見の		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績		27年度実績 (達成率)		見の状況 価理由	
代表的な成果指標	広域物流ネットワークの強化 恒見朽網線の整備により、新門司地区と北九州空港間の所要時間36分から28分に短縮されます。 (最終目標と目標年度)所要時間短縮 平成37年度		単年度目標設定なし				
活動計画	どうやって 目的を達成するか 物流ネットワーク構築のため、道路の早期整備を促進し 関標年次に向け、確実に整備促進を図ります。	します。また、整備中の道	直路については、供用	活 動 活動指標の の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績		27年度実績 (達成率)		めの状況 価理由	
	主要な街路・道路の単年度完成延長(暫定での供用を含む)	2.5 kr	n	(是似年) 計画理:		imz h	
活動指標	市内の渋滞対策やネットワーク強化のため、主要な街路・道路の整 を進めています。	修備	3.2 km				
					_		
			let x				
	「成果の状況」	Check 】評価 (分	析)				

	【Check】評恤(分析)					
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点					
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点					

	PDCAチェックシート(平)	成 97 年度	宇华亚体)		担当局	建設局	
		W ZI 千万	大鴨 計画/		担当課	道路維持課	
	事業概要				課長名	竹田	
事業名	都市モノレール長寿命化事業(道路・街路)					接番号 - (1) - ②	
-					■ 直営		
事業概要	北九州モノレールは、昭和60年に開業後、約30年が経過しており、軌道 ようになっています。このため、劣化対策(耐震対策も含む)を行い、析り 民の重要な交通機関であるモノレールの安全性・信頼性の確保を図りま	や支柱等、構造物の長			事口全部	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理	
\Box	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考)	人	目安の金額	課長 0.50 人	()		
スト	業	件	30,750 千	円 係長 1.00 人 職員 2.00 人	(人件費備考)		
•				順員 2.00 八			
		Action】改善					
	H25年度の評価結果を受けての課題 モノレールの安全性や公共交通としての信頼性を確保しまでの課題 切ります。	た	関との協議・調整を行 こ努めます。	テいながら、計画的か	つ効率的な長	·寿命化対策事業	
	【Plan】計画			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価	
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような成果を実	現したいか)	БÜ			
目的	モノレールのインフラ構造物(軌道桁、3 市民 より、北九州モノレールの長寿命化を図 頼性を確保します。			代表的な成別で表的な成別である。 代表的な成別である。 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「一大表的な成別である。」 「「「一大表的な成別である。」 「「「一大表的な成別である。」 「「「一大表的な成別である。」 「「「一大表的な成別である。」 「「「「一大表的な成別である。」 「「「「一大表的な成別である。」 「「「「一大表的な成別である。」 「「「「一大表的な成別である。」 「「「「「「「」」」」 「「「「「」」」 「「「「」」」 「「「「」」」 「「「「」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「「」」 「「「」」」 「「「」」 「「「」」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」」 「「「」」 「「」」 「「「」」 「「」 「「」」 「「」 「」	<u>き</u> 0		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績		見の状況	
代表的な成果指標	(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) モノレールのインフラ構造物(軌道桁・支柱)における長寿命化対策の 実施による安全確保 長寿命化対策として、劣化対策や耐震対策を行なうことにより、モノ レールの安全・安心な運行の確保を目指します。 (最終目標と目標年度)平成33年度完了	下权: 20 年及 美根	単年度目標設定なし	(達成率)	AT	価理由	
活動計画	どうやって 目的を達成するか 計画的な劣化対策、耐震対策を行い、北九州モノレールの にいきます。	長期的な安全性・信頼	性の確保に努めて	活 動 活動指標の9 の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		かが況 価理由	
	モノレールの構造物(軌道桁)における劣化対策実施区間数			(XE/X)-T/	ПТ	اضر علت جدر	
活動指	モノレールの軌道桁の劣化対策を行います。	114 径間	37 径 間				
標	モノレールの構造物(支柱)における劣化対策実施本数	59 本					
	モノレールの支柱の劣化対策を行います。		42 本		-		
		eck】評価(分析	÷)				
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	(7) (/)					
題の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点						

		PDC	Δチェック	シート(平成 27	年度	(字籍評価)			当局		設局
									当課	道路維持課	
				事業概要				課:	長名	ተ	力田
事	١								施	策番号	
業名	業 橋梁·トンネルの長寿命化への計画的な取り組み 8									- (1)	- 2
事業概要	事 市内には、約2,000の橋梁と42本のトンネルがあり、これらの多くは高度経済成長期以降に建設されたもので高齢化・老朽化の進展が懸念されています。そこで、長期的視点にたち効率的・効果的に管理するアセットマネジメントの考え方を取り入れ、従来の悪くなったら補修する対症療法型を改め、計画的に手を入れて長持ちさせる予防保全型に移行するため、「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」(H22.3)及び「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」(H25.2)を策定しました。本事業は、この計画をもとに、予防が有効な状態である健全度皿以上の橋梁とトンネルを増加させることで市民の安全・安心を確保します。								■ 直営 □ 全部 ■ 一部 □ その	委託 🗆	補助金 負担金 指定管理
П	事	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	人	目安の金額	課長 1.10 人	(()
ス	業	2,014,860 千	2014060 '		件			(人件	費備考)		
	費	2,014,800 円	円		費	100,150 77	職員 9.00 人				
				ZA at N	-L- 						

		【Plan】計画				o】実施	\rightarrow	【Check】評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような成果を実	現したいか)	成	15 - 11 t 5 B	- 44	
目的	主要橋梁、トンネル	すべての橋梁・トンネルが予防保全の存	す効な健全度ランクⅢ	果の状況	代表的な成身標の実績など参考に、成果 状況をチェック	をの		
		・は、目指している状態を文章で記載) 指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標		年度実績 達成率)		成果の状況 評価理由
	主要橋梁の健全度向上によるす							
代	すでに老朽化が進んでいる12 皿以上になるように補修補強エ		単年度目					
数	合を増加させます。		標設定なし					
な成品	(最終目標と目標年度)全主要							
果 指	トンネルの健全度向上による市	_						
火	すでに老朽化が進んでいる8ト: クⅢ以上になるように補修補強		単年度目 標設定なし					
	割合を増加させます。	クⅢ以上になるように補修補強工事を実施し、健全度ランクⅢ以上の 割合を増加させます。						
	(最終目標と目標年度)全トンネル	の健全度Ⅲ以上 平成33年度						

活動計画	とうやって 目的を達成するか とおれい進んだ橋梁・トンネルについて健全度向上を図るため、補修補強工事を実施し、完成を目指します。							実績 動 ツク		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)			上段:25年度実績 下段:26年度実績 27年度目標			年度実績 達成率)	活動の状況 評価理由		
	リニューアル対象橋梁の完成数			橋						
活動指	6橋の工事	6橋の工事完成を目指します。			6 橋					
標	リニューアル対象トンネルの完成数			トンネル	ぐ					
	2トンネルの	2トンネルの工事完成を目指します。			2 ネ					

	【Check】評価(分析)								
及 び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点								
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点								

	PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)									
	1 D G A V	_,,	事業概要		1 12	CAST IM			担当課	公園管理課
			争耒慨妛						課長名	新山 三策番号
事業	 長野緑地を利用した農業	業体験教 室	3							
名	24.11.2211112121								VI - 1	- (2) -
-									□ 直営	□ 補助:
事業	計画地内に複数の活動エリアを設け								事 ■ 全部	委託 🛚 負担的
概要	等の整備、管理等に取り組む。また 加を拡大するイベント等を開催します。		自然の中で遊び、字。	か場を提供(したり、収入	隻物を使用したイヘン	ハトなと	、市民の参	業 手 □ 一部	委託 🗆 指定的
安									法 □ その	他
一	事 27年度当初予算額 27年	F度執行額	(事業費備考)		人	目安の金額	課	長 0.03 人	(
ス	業 0,000 千	千			件	1,120 千	A 係	長 0.04 人	(人件費備考)	
۲	費 2,600 円	円			費	1,120	職	員 0.05 人		
				Action	改盖					
				見						
課	H25年度の H25年度は天気に恵まれ 評価結果 することができましたが、			主以 吉						
題	を受けてれる事業のため、イベン	トの周知に努め			ホームへ	ページ等を活用して、	事業の)積極的な周9	知に努めます。	
	の課題 2,000人を超えることを目	指します。		容						
			n】計画				(C	o】実施	→ [Ch	eck】評価
			うな状態にしたいか				成	代表的な成績	甲也	
目	│ │公園計画地を有効活用と里 │す。	・緑地ではその計 当事業ではH15年	画テーマとして「自然と 度に完成した「学習月	と人を育む、作 月田圃」の効薬	本験交流公 率的管理運	園」を目指していま 営として、また、計画	果の	標の実績など	ビを	
的	山・里地としての農村景観の維 地の	買収済区域等の	暫定的利用の一手法 業体験教室」を行いる	として、市民	が農作業を	通して自然環境につ	状	参考に、成果状況をチェッ		
			としての農村景観の維			T-EC UWIN 19	況			
	指標(数値化できない場合は、)			上段:25年 下段:26年		27年度目標		年度実績		見の状況 伊田中
	(上段:指標名 下段:指標の		の考え力)	14女.201	十尺大根		(3	達成率)	a't	価理由
	市民参加による農業体験教室の参加	川百数		2,243	人					
代	H15年度に事業を開始しH20年度に参加者数が2,000人を超えました。					2,000 人				
表的	毎年度2,000人を超える参加者を目指します。					2,000 🔨				
な成	(最終目標と目標年度)参加者数2,000人 毎年度									
R 果							-		_	
指										
標										
活	農業体験教室は自然相	手の事業であり	、毎年、天候や気象	条件が異な	る中で、最	長善を尽くして事業	活			
動	どうやって を進めていきます。地元 目的を達 農業体験を行うことで、	の団体や幼稚園	園、小学校と連携して	て活動を行い	います。		動の	活動指標のきを参考に、活		
計画	成するか作業することへの喜びた	(得られることを	期待しています。			かれしのりいい。、一相に	状	の状況をチェ		
	事業の実施はNPO法人						況	han salan salan dalah	, ,,,,,	4 a 11 7 7
	指標 (数値化できない場合は、 (上段:指標名 下			上段:25年 下段:26年		27年度目標		年度実績 達成率)		めの状況 価理由
	市民参加による農業体験教室の実				_			<u> </u>	М	Im -T IM
	野菜作りの基本学習、土になじむこ		ナツマイモの作付	55	回	50 E				
活動	け、芋ほりや水田でのもち米の田植	え稲刈り等を行	い、収穫物の試食			50 回				
指	会を開催します。ひまわり、コスモス ます。	の性まさを行い	、化畑釜畑を打い							
標										
				L-1.≑∓	THE COLUMN					
	F-BH OJDYFT		[Ch	eck】評	1四(分析	7				
分	【成果の状況】 【活動の状況】									
析及	を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、									
び	外部要因などの視点									
課題	「奴汝州」。									
Ø	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)									
理	の分析 ※民間活力導入の視点									
	本式间沿力等人の代点									

(平成 27 年度実績評価) 担当局 建設局 担当局 建設局 担当場 総政理
1三二杯 除政体
概要
施策番号
ブくり マロー 2 ー (1) ー ③
する事業です。
では、スなっちゃ:化塩というた、川氏パッショインでは来・団体と一 事 ロ 全部委託 ロ 負担金 の緑は、都市景観を印象付けるとともに、快適な生活環境をつくりま 事 ロ 全部委託 ロ 負担金
どの緑の整備については、植栽場所の生育空間などを考慮した、ゆ ▼
線の自成に劣めています。さらに特別線地床主地区制度や床仔倒制
人 目安の金額 課長 0.10 人 (
件 23.150 千円 係長 0.70 人 (人件費備考)
費 23,150 十円 職員 2.00 人
【Action】改善
[Action] 以普
見 直 ①公共花壇の配置及びデザインの見直し
・小倉駅周辺など主要花壇の拡大と修景効果の低いフラワーポットの一部廃止・宿根植物の使用による植替え経費の削減
内 1日依恒初の使用による恒督を経貨の削減 2土地取得の強化
【Do】実施 → 【Check】評価
たいか、どのような成果を実現したいか)
成。代表的な成里指
楽しむことが出来る「花のまち北九州市」をさらに
楽しむことが出来る! 花のまち北九州市」をさらに

的	①市内各所 ②都市内の緑 い」と思える「花とみどりと潤いのまちづ ②特別緑地保全地区において、土地取	とい、住み続けた	分 参考に、成果 状 状況をチェッ 況		
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	公共花壇及び市民花壇の面積	44.693 m ²			
代表	公共花壇及び市民花壇は市民に一番身近にある花壇であり、市と市 民の花づくりの実績に直ちに反映されるものです。今後も市民との協働 で「花とみどりの潤いのまちづくり」の推進に努めていきます。		46,587 m ²		
的な成	(最終目標と目標年度) 46,587㎡ 平成27年度				
果 指 標	特別緑地保全地区の買収面積	2.572 m ²			
1乗	特別緑地保全地区の買収を行い、都市の中の緑の保全を行っています。		16,973 m [*]		
	(最終目標と目標年度) —				
活動計画	でするか 市民花壇においては市民との協働を推進していき、種からの ターの主催する講座の開催などを推進していきます。 公共花壇においては、市民ボランティアとの協働や企業・団 に努め、より効果的な場所に設置し事業効果を維持していき。 緑地保全地区においては、買入れ申し出のある土地につい		活 動 活動指標の9 の を参考に、活 状 の状況をチェ 況	動	
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	花づくりに関する講座の開催	10			

	【Check】評価(分析)									
分析及び	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点									
課題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点									

	PDCAチェックシート(平	5成 27 年度	(宝繕評価)		担当局建設局
	事業概要				担当課 水環境課 課長名 関川
事	ず未恢复	ς			施策番号
業名	身近に自然を感じる河川整備事業				VI - 4 - (1) - 2
事業概	これまでの河川事業は治水整備を中心に行われてきました。このため 的な水路のようになってしまいました。 そこで、都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の				■ 直営
要	配慮した整備を行うことによって、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近	に自然を感じる水辺環	境整備事業を行って 目安の金額	います。	手 □ 一部委託 □ 指定管理 法 □ その他 ,
コスト	事 2/年度当初予算額 2/年度執行額 (学業項酬等) 業 138,000 千 円	人 件 費	48,250 千	課長 0.50 人 円 係長 0.50 人 職員 5.00 人	(人件費備考)
		【Action】改善			
題	H25年度の 評価結果 を受けて の課題 護岸工事を行う際には、積極的に環境に配慮した整備を移 しいます。今後も、より一層環境に配慮した護岸の整備の進 図ります。	一 ラぼもの	にり一層、環境に配慮 J川整備事業に取り糺		らい、市民が身近に自然を感じ
	【Plan】計画			【Do】実施	→ 【Check】評価
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたい)	か、どのような成果を実	現したいか)	成。	
目的	河川 ホタルなどの生物の生息・成育環境に 身近に感じる河川を取り戻します。	二配慮した整備を行うこ	とによって、自然を	代表的な成別で表別では、一代表的な成別である。	<u> </u>
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	環境に配慮した護岸整備				
代表的な	護岸工事を行う際には、生態系に配慮した整備を行うことで、自然を身近に感じる状態を目指します。	}	単年度目 標設定なし		
成果指標	(最終目標と目標年度) —				
活動計画	どうやって 目的を達 成するか	系に配慮した整備を進め	っていきます。	活動 動活動指標の のを参考に、活 状の状況をチェ 況	動
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
活動指	環境に配慮した護岸整備延長 護岸整備を行う際に、生物の生息・生育環境となっている水際部を保 全・復元するなど、生物に配慮した護岸の整備を進めます。	34,700 m	34,900 m		
標					
		heck】評価(分#	-		·
分析及	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析	TECK] FT IIII(分句			
及び課題	※事業手法の有効性、 外部要因などの視点				
極の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点				

									_			
		PDC	· A チェック	シート(巫成	27 £	干度	宝繕証価)		_	旦当局	,	設局
	PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)								扌	旦当課	緑	政課
				事業概要					Ē	果長名	弄	柴田
事	Γ.									施	策番号	
業名	[さやみどり」によ	る彩りと潤いのも	あるまちづくり ────					VI	- 4	- (1)	- 3
				も や緑を活用する事業です						■ 直営		補助金
事 業				・スポンサー花壇、うぇるっ 各や公園などの緑は、都市					事	□ 全部	委託 🗆	負担金
概				でな国などの縁は、郁川つくる道路などの緑の整備					業	■ 一部	委託 口	指定管理
要	راغ	ある植栽を行うとともに	、適正な維持管理を行う	ことで健全な緑の育成に多					手法			田化日生
	度を	活用し、都市に残され	た貴重な緑の保全に努め							□ その	他	
П	事	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)		人	目安の金額	課長 0.10 人		()
ス	業	100,023	·			件	23,150 千円	係長 0.70 ^人	(人作	牛費備考)		
7	費	100,023 円	円			費	23,100 〒口	職員 2.00 人				
				Act	ion】改	善						
課題	評価		所への公共花壇の設置 全地区における土地取得	3 O 'F	· /	小倉駅	と 壇の配置及びデザイン 周辺など主要花壇の拡 物の使用による植替え	大と修景効果の	低い	フラワーデ	ポットの-	一部廃止

		【Plan】計画				(C	o】実施	\rightarrow	【Check】評価
	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか	、どのような成	(果を実	現したいか)	成			
目的	①花で彩られ、四季折々に花を楽しむことが出来る「花のまち北九州市」をさらに ①市内各所 育てていき、市民はもちろん、ここを訪れた人にも「住んでみたい、住み続けた ②都市内の緑 い」と思える「花とみどりと潤いのまちづくり」を目指します。 ②特別緑地保全地区において、土地取得を行います。					果の世	代表的な成界標の実績など参考に、成果 状況をチェック	をの	
		・は、目指している状態を文章で記載) 指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度 下段:26年度		27年度目標		年度実績 達成率)		成果の状況 評価理由
	公共花壇及び市民花壇の面積	44.693	m²						
代	公共花壇及び市民花壇は市民 民の花づくりの実績に直ちに反	,		46.587 m ²					
表的	で「花とみどりの潤いのまちづく			40,567 111					
な成品	(最終目標と目標年度) 46,58								
果 指	特別緑地保全地区の買収面積		2.572	m²					
標	特別緑地保全地区の買収を行	2,372		16.973 m ²					
	す 。				12,270				
	(最終目標と目標年度)	_							

活動計画	市民花壇においては市民との協働を推進していき、種からの花づくり推進やフラワーコーディネーターの主催する講座の開催などを推進していきます。 公共花壇においては、市民ボランティアとの協働や企業・団体の協力を得ながら効率的な維持管理に努め、より効果的な場所に設置し事業効果を維持していきます。 緑地保全地区においては、買入れ申し出のある土地について取得を行います。							実績 動り
	指標	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度 下段:26年度		27年度目標		年度実績 達成率)	活動の状況 評価理由
	花づくりに阝	引する講座の開催	10					
活動指	フラワーコー す。また、† りの推進と			10 回				
標								

【Check】評価(分析)							
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点						
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点						

	PDCAチェックシート(平	成 27 年度	実績評価)		担当局担当課	建設局公園管理課				
	事業概要	課長名	菊山							
事		施	策番号							
業名	長野緑地を利用した農業体験教室					- (1) - ③				
事業概要	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学加を拡大するイベント等を開催します。	□ 直営 事 全部: 業 月 □ 一部:	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理							
コスト	事 27年度当初予算額 27年度執行額 (事業費備考) 業 2,600 千 円	人 件 費	目安の金額 1,120 千	課長 0.03 ^人 所長 0.04 ^人 職員 0.05 ^人	(人件費備考))				
【Action】改善										
課題	H25年度の 評価結果 することができましたが、気象条件によって実施回数が左右される事業のため、イベントの周知に努め、毎年度の参加者数が 2,000人を超えることを目指します。									
	【Plan】計画	【Do】実施	→ [Ch	eck】評価						
	対象(誰を、何を) 目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 成									
目的	公園計画地を有効活用と里山・里地としての農村景観の維持 持 世・里地としての農村景観の維地の買収済区域等の暫定的利用の一手送いて体験学習する「農業体験教室」を行いとともに、里山・里地としての農村景観の総	用田圃」の効率的管理運 まとして、市民が農作業を ます。それにより公園計	営として、また、計画 通して自然環境につ	代表的な成界 の 標の実績など 参考に、成果 状況をチェック	ぎ :の					
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		見の状況 価理由				
代表的な成	市民参加による農業体験教室の参加者数 H15年度に事業を開始しH20年度に参加者数が2,000人を超えました。 毎年度2,000人を超える参加者を目指します。 (最終目標と目標年度)参加者数2,000人 毎年度	- 2,243 人	2,000 人							
操 標										
活動計画	農業体験教室は自然相手の事業であり、毎年、天候や気急を進めていきます。地元の団体や幼稚園、小学校と連携し とされていきます。地元の団体や幼稚園、小学校と連携し 農業体験を行うことで、自然に親しむ機会を与え、食への 作業することへの喜びが得られることを期待しています。 事業の実施はNPO法人長野美し村計画実行委員会に委託	て活動を行います。 関心、家族や友達との。		状 の状況をチェ 況	動ック					
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)		かの状況 価理由				
活動指!	市民参加による農業体験教室の実施 野菜作りの基本学習、土になじむことを目的としたサツマイモの作付け、芋ほりや水田でのもち米の田植え稲刈り等を行い、収穫物の試食会を開催します。ひまわり、コスモスの種まきを行い、花畑整備を行います。	55 💷	50 回	() () () () () () () () () () () () () (
標										
	【Check】評価(分析)									
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	THE PARTY OF								
課題の整理	「 経済性」 (同成果を低コストで) 「 効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点									